

環境調査結果のお知らせ

令和7年4月21日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で1 cell/mL確認されました。また、湾内で局所的な海面着色（橙色）がみられたため、大室戸周辺（0 m）で当該着色海水を持ち帰って検鏡したところ、ノクチルカ・シンチランス（夜光虫）が1,900 cells/mL確認されました。夜光虫は魚類に対して無害種とされていますが、赤潮消滅後に海水中の溶存酸素量が減少する可能性がありますので、注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)		
1 防波堤内側 (5.5m) 【11:40】	0	19.5	33.3	8.4	0	-
	2	18.7	33.9	8.5	0	-
	5	18.2	34.3	8.2	0	-
	10	17.9	34.5	8.0	0	-
	底層 14	17.6	34.5	7.8	-	-
A ガラク (10.3m) 【11:31】	0	19.5	34.4	8.2	0	-
	2	18.7	34.3	8.2	0	-
	5	18.3	34.4	7.9	0	-
	10	17.9	34.5	8.0	0	-
	底層 14.5	17.6	34.5	7.8	-	-
2 須崎木材工業団地 前 (5.5m) 【11:49】	0	18.6	33.8	8.2	0	-
	2	18.5	33.9	8.3	-	-
	5	18.4	34.0	8.3	0	-
	10	17.8	34.4	7.9	-	-
	底層 13.5	17.7	34.5	7.1	-	-
B 勢井 (7.5m) 【12:04】	0	19.8	34.4	8.2	0	-
	2	19.1	34.3	8.0	0	-
	5	18.6	34.4	7.7	0	-
	10	17.8	34.5	7.5	0	-
	底層 18	17.5	34.6	6.3	-	-
C 馬の背 (7.9m) 【12:11】	0	19.7	34.4	8.0	0	0
	2	19.0	34.4	7.8	0	0
	5	18.4	34.4	7.8	0	0
	10	17.8	34.5	7.9	0	0
	底層 22	17.4	34.6	7.0	-	-
D 大室戸 (7.8m) 【11:19】	0	19.4	34.4	8.4	0	-
	2	18.8	34.4	8.4	0	-
	5	18.5	34.4	8.0	0	-
	10	17.8	34.5	8.0	0	-
	底層 20.5	17.4	34.6	6.5	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)		
E 大谷漁港内 (5.8m) 【12:22】	0	19.3	34.5	8.1	0	-
	2	18.9	34.3	8.1	0	-
	5	18.4	34.4	8.2	0	-
	底層 8.5	18.0	34.5	8.1	-	-
F 湾奥ブイ (7.5m) 【10:58】	0	19.5	34.8	8.6	0	0
	2	18.9	34.4	8.6	0	10
	5	18.4	34.4	8.2	0	10
	10	17.8	34.5	8.0	0	30
	底層 16	17.5	34.6	7.1	-	-
3 タンポ (7.3m) 【11:09】	0	19.2	34.5	8.4	0	-
	2	18.9	34.4	8.6	1	-
	5	18.2	34.4	8.4	0	-
	10	17.8	34.5	8.1	0	-
	底層 13	17.7	34.5	7.7	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



1: 防波堤内側

A: ガラク

2: 須崎木材工業団地前

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 大谷漁港内

F: 湾奥ブイ

3: タンボ